



SAUNA・SPA

健康とやすらぎをクリエイトする

12月/365号

発行 社団法人日本サウナ協会
TEL 03 (5275) 1541 (直)
FAX 03 (5275) 1543
〒102-0085 東京都千代田区六番町1

「第15回 全国オーナー・幹部研修会」開催

(社)日本サウナ・スパ協会は11月29日、新浦安オリエンタルホテル(千葉県)にて「第15回 全国オーナー・幹部研修会」を開催。今年も全国から会員・賛助会員が多数参加した。



午後2時の定刻通り、研修会は始まった。研修会を企画した織茂明彦組織強化部会長より歓迎の挨拶、中野憲一会長の開会の挨拶に続き、講演に入った。



今年の講演は、体験入浴の会場でもある(株)湯巡り万華郷代表取締役会長・松野八郎氏による「湯巡り万華郷の説明と開発コンセプトについて」、厚生労働省健康局生活衛生課課長補佐・清原宏真氏による「温浴施設の衛生管理について」、総合ユニコム(株)企画調査部・岡庭峰夫氏による「美・癒・健」ビジネスと温浴施設の動向について」(講演内容の要旨は3・4面に掲載)。参加者は各講師の話に聞き入った。



(写真上より) 松野八郎氏、清原宏真氏、岡庭峰夫氏



講演終了後、各参加者は送迎バスに乗り「湯巡り万華郷」へ移動、大正浪漫をイメージした日本最大級の温浴施設で体験入浴を実施した。同施設は本年3月号の千葉特集でも取り上げたが、42の風呂、9カ所の飲食店、9カ所の美容施設、24室の宿泊個室を擁する大施設。各々館内着に着替え、その大規模施設を視察し、体験入浴した。

午後6時30分からは宴会場にて、約2時間の懇親会を開催。取締役総支配人・新實穰治氏の挨拶の後、林浩美東京都支部会長の音頭で乾杯と続き、湯巡り万華郷自慢の料理を楽しみながら参加者同士、交流を結んだ。

締めめの挨拶は森信仁愛知県支部会長より来年愛知県支部の幹事で行われる全国総会への抱負や意気込みが述べられ、盛況のうち幕を閉じた。



(写真下) 湯巡り万華郷 (円内写真) 湯巡り万華郷・新實取締役総支配人

「年賀紙上名刺交換会」ご出稿のお願い

平素は本協会の事業運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、『SAUNA・SPA』新聞1月号では、協会会員ならびに関係各位のご賛同を得まして、恒例の「年賀紙上名刺交換会」を行います。何卒ご出稿賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(社)日本サウナ・スパ協会会長 中野憲一

「年賀紙上名刺交換会」広告要綱

- ◇締切 平成19年1月9日(火) 必着
- ◇料金 20,000円(1月20日付でご請求)
- ◇サイズ 縦39mm×横80mm
- ※ 統一書体を使用しますので、必ずしもご希望の書体、デザインにそえない場合もあります点をご了承ください。ロゴはメールにてデータをお送りください。
- ◇お申し込み、お問い合わせ先
(社)日本サウナ・スパ協会事務局
TEL: 03-5275-1541(代)
FAX: 03-5275-1543
E-mail: sauna@tky2.3web.ne.jp

厚生労働省が「ノロウイルスに関するQ&Aについて」報道発表

昨今、ノロウイルスを原因とする嘔吐・下痢などの健康被害が多発しています。ノロウイルスによる感染症および食中毒の発生防止のために、ノロウイルスに関する正しい知識と予防対策が必要です。今般、厚生労働省健康局および医薬食品局食品安全部より、「ノロウイルスに関するQ&Aについて」が報道発表されました。詳細に関しては本紙に抜粋を同封いたしますが、同内容は厚生労働省のHP(下記URL)にも掲載されています。社内に徹底し、予防に努めましょう。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou./2005/12/h1208-1.html>

SAUNA・SPA新聞へのご意見・ご感想をお聞かせください。協会ホームページでもご覧になれます。http://www.sauna.or.jp/

Kanebo

充実のラインナップで施設様をサポートします。

VECTEUR



【ヴェクトール】

スキッと香って残らない極微香・残香性ゼロの男性化粧品シリーズ

Posit



【ポジット】

紫外線から髪を守る、無香料・無着色のスタイリングシリーズ

MAKE CLEAR MILK



【メイククリアミルク】

メイク落としと洗顔が一度に出来るお風呂で使える洗顔ミルク

お問合せは全国のニトリ・カネボウレジャー代理店または日理株式会社へ

日理株式会社

東京店/東京都荒川区東日暮里 6-39-15
大阪店/大阪府東大阪市長田東 2-1-11

☎(03) 3803-1211 (代)
☎(06) 6746-5300 (代)

関西支部より

「営業第一線幹部研修会」を開催



関西支部(洪里勝信会長)は11月21日にニュージャパン7階会議室にて、「第34回 営業第一線幹部研修会」を開催しました(写真下)。

元本部協会常務理事で、ニュージャパン観光(株)代表取締役社長・中野佳則氏(写真左上)が久しぶりに協会活動に登場です。関西支部研修推進担当の村山吉和氏の要請に応じ、「飲食部門の業績が急速に好転する」をテーマとして、実践的研修の講師を務めていただきました。

中野氏による講義テーマは2つ。1つ目は、「店長(または飲食部門長)の秘技公開」で、中野氏自身の豊富な経験から生み出した秘技を伝授していただきました。2つ目の「心の持ち方で自分が変わる」では、気持ちを前向きに変えると周囲にいい影響を与えるという大切さを教えていただきました。

講義後は、1階「スパ・カバーナ店」にて体験入浴を行い、その後は会食形式の質疑応答の場を設けたところ、予定時間をオーバーした5時間にも及ぶ研修会となりました。



理事会、「例会・忘年懇親会」開催

関西支部は12月12日、ニュージャパン観光(株)にて「例会・忘年懇親会」を行いました。また、例会に先立ち、理事会も行いました。

例会は恒例の業績情報交換です。各店の客数・総売上・一客消費単価についての業績情報交換、昨年よりアップしたセクションの発表、今年の新規メニューの発表とその効果測定、年末年始の営業とお楽しみ企画内容の発表、各質疑応答を2時間行いました。

その後は1階「スパ・カバーナ店」にて体験入浴、18時より正会員・賛助会員合同の忘年懇親会を行いました。忙しい師走のなか70人もの参加があり、互いに今年のお礼と来年の飛躍を酌み交わしました。



12月7日、岐阜県中津川の「クア・リゾート湯舟沢」において、愛知県支部(森信仁会長)は次年度全国総会幹事支部の準備会発足と、年末年始の営業や正月の催し等について各店からの発表や意見交換を行いました。

冒頭、来賓として参加した本部中野憲一会長から、「来年は全国総会幹事支部としてお世話になります」と挨拶があり、できれば日本のメンバーが一同に集う全国総会で、来年予定されている東アジアスパ連盟会議も同時開催したいとの要請が

愛知県支部より

来年の全国総会の準備会発足

出され、愛知県支部はこれを了承しました。この件については今後、中国、韓国、モンゴルと連絡を取り合い、本部理事会での正式決定を待つこととなります。

今回の会場「クア・リゾート湯舟沢」は、作家・島崎藤村の生地として有名な馬籠宿にも近く、その影響で観光客も大勢訪れます。湯舟沢の温泉水はぬるぬるした感触で美肌になると言われ、非常に人気が高く、地元をはじめ愛知県などからも年間20万人以上の入館があるとのこと。

忘年会には賛助会員も加わり、50名で地元の食材をおいしくいただきました。

翌日のユーグリーン中津川GCでのゴルフコンペには9人が参加し、熱戦の結果、ダブルペリアにより(株)メトスの余呉孝氏が優勝しました。

北海道支部より

「勉強会」を開催

12月12日、札幌市手稲区に11月1日新規オープンしたワンディ・スパ「ていね温泉」にて、北海道支部(佐藤有宏会長)は施設見学と勉強会を開催しました。

冒頭、佐藤会長が「北海道は広くて本州での勉強会にもなかなか出られないので、今回は講師を本部事務局長の若林幹夫氏に依頼しました」と挨拶。若林氏から、今年の海外視察についての報告や感想、各国のサウナ施設の説明や、先の厚生労働省・清原宏真課長補佐の講演から生命線である温浴施設の衛生管理についての話などをいただきました。

体験入浴の前に、ワンディ・スパの中村恵一社長より施設の説明を受けました。

「本施設は敷地3200坪に約1000坪の建物で、ロッカー数1050、駐車場330台収容可能な、



(写真右)「ていね温泉」フロント
(写真左)懇親会では力を入れたという自慢料理を楽しんだ



24時間営業の日帰り温泉施設です。札幌最大級の豊富な源泉が自慢で、大浴場、プール、露天風呂など、これまで培った温浴施設造りのノウハウを随所に生かしたつもりです。

お客様にのんびり過ごしていただくために、食材選びも厳選し、飲食に力を入れました。500名収容可能な食事処は、仕切りで100名様までの宴会に対応できる造りになっています。

また、お客様の健康面のお手伝いができるように、温水プールを利用して、北海道大学とのタイアップで研究が進んでいる水中運動エクササイズを取り入れています。

このように、お客様に健康的な癒やしと休息を満喫していただけるよう、思いを込めて天然温泉施設に仕上げました。

KIRIN
KIRIN'S ORIGINAL BREWERY
DRAFT BEER
KIRIN BEER
一番搾り

キリン一番搾り
飲酒は20歳になってから。お酒は楽しく、ほどほどに。

大塚製薬

のどをうるおすだけの飲料ではありません。

ION SUPPLY DRINK
POCARI SWEAT

Asahi
アサヒビール

これが辛口、うまさが違う。

洗練されたクリアな味・辛口。
SUPER
"DRY"
Asahi
生
スーパードライ
アサヒビール
350ml

ビール飲酒は20歳になってから。ほどよく、楽しく、いいお酒。あきかんはリサイクル

アサヒビール株式会社

講演紹介

「全国オーナー・幹部研修会」講演の最後は、総合ユニコム㈱の岡庭峰夫氏による温浴業界の動向のデータ紹介とその分析が行われた。岡庭氏には3年前の幹部研修会でも講演を依頼し好評を博したことから、今回の講演が実現した。

内容は、「温浴施設の利用経験」「美・癒・健」施設のポイント」「美・癒・健」ビジネスの事業指標」「公衆浴場の分類と施設数の推移」「公衆浴場の類型」「温浴施設事業のポジショニング」「温泉利用公衆浴場の数

業界データ紹介と分析に聞き入る

と分布」「スーパー銭湯の数と分布」「岩盤浴の数と分布」「温浴施設の事業比較表」。

そして、最近の注目事例として、「湯巡り万華郷」と「ウィンズラジャ舞浜ユーラシア」、「六本木天然温泉Zaboo」と「GRAND shiespa」を、比較しながら写真を交えて細かく紹介した。

参加者は事前に配布された総合ユニコム内外のデータを食い入るように見ながら、1時間の講演に聞き入った。以下その一部を紹介する。

埼玉県赤十字血液センターに寄贈 献血車両が納車

本協会は毎年、全国総会の際に開催地の赤十字血液センターへ献血関連車両を贈呈している。今年5月に大宮で行われた全国総会でも、埼玉県赤十字血液センター献血部部長・中山重敏氏に鍵と目録を授与した。寄贈した献血関連車両は今回で12台目となる。

このたび同センターに献血広報車(写真)が納車になり、礼状とその写真が協会本部へ届いたので紹介する。



このたびは、当血液センターに対し多額の寄付をいただきまして、誠にありがとうございました。

お蔭をもちましてやっと「献血広報車両」が納車になりました。いただきましたご寄付は、車両代金に充てさせていただきました。重ねて御礼申し上げます。

埼玉県赤十字血液センター

講演

“美・癒・健”ビジネスと温浴施設の動向について

総合ユニコム㈱ 企画調査部 岡庭 峰夫 氏



温浴施設は“美・癒・健”を目的とした総合サービス産業として成長を続けて

いますが、その背景とニーズなどについて、データをもとに説明をさせていただきます。

表は弊社が本年4月にインターネットを使い、女性1000人を対象として行った“美・癒・健”施設の利用実態についての調査です。利用客はそれぞれにストレスや悩みを抱

いており、それらを解消するために、ビューティ系、リラクゼーション系、ヘルス系の施設を利用しているわけです。

「最も利用する施設」としては、ビューティ系ではエステティックサロン、リラクゼーション系ではマッサージやフットサロン・岩盤浴・スパ、ヘルス系ではフィットネスクラブ・整体院が挙がり、「今後利用したい施設」ではヨガスタジオに人気集中しています。これを見ると、マーケティングのトレンドは、「癒やしを中心としたストレスの解消」にあると考えられます。

最もよく利用する施設を利用ようになった目的

◆ビューティー系施設	
1. 美容のため	410人
2. ダイエットのため	64人
3. ストレス解消のため	41人
4. 日頃の疲れをとるため	30人
◆リラクゼーション施設	
1. 日頃の疲れをとるため	361人
2. ストレス解消のため	92人
3. 身体の痛みをやわらげるため	79人
4. 健康維持のため	52人
◆ヘルス系施設	
1. 健康維持のため	268人
2. 身体の痛みをやわらげるため	211人
3. ダイエットのため	112人
4. 日頃の疲れをとるため	94人

サウナ あれこれ 延長戦

第17回 古代ローマ風呂①

中山真喜男 サウナ・スパ管理士講師

4世紀中頃のローマには、11の巨大浴場と856の銭湯があったと当時の記録に残されているそうです。現在、古代ローマの浴場の遺跡として当時の面影を残しているのは、カラ・カラ浴場とディオクレティアス浴場のふたつです。いくつかの文献にも紹介されておりますが、カラ・カラ浴場を見てみましょう。カラ・カラ浴場は紀元212年に着工し、216年に完成したといわれます。ディオクレティアス浴場に次いで世界第2の巨大浴場です。大きさの差はあっても、内容的にはどの皇帝の浴場も違いはなかったようです。カラ・カラ浴場の規模からみてみましょう。

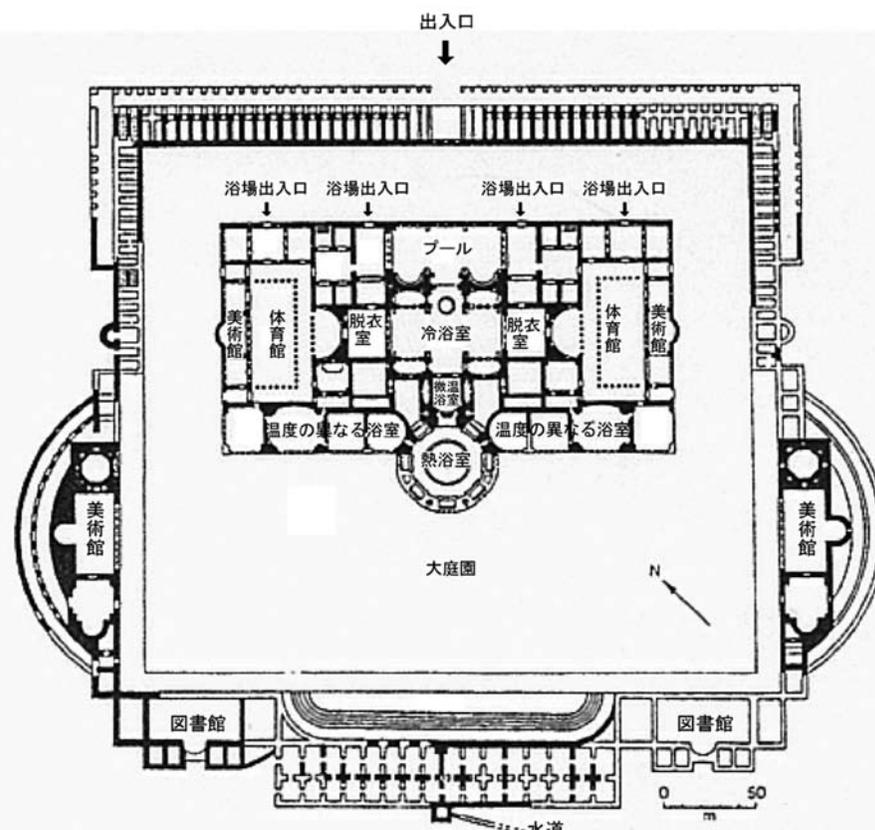
図のように敷地面積は337m×328m(11万500㎡)、浴場部分は220m×114m(25080㎡)の広さがあり、庭園、美術館、図書館、体育館、店舗などが備わっていました。風呂の設備としては、脱衣室(アポデュテリウム)、大広間、微湿浴室(テビダリウム)、熱浴室(カリダリウム)、発汗室(ラコニウム)、冷浴室(フリギダリウム)、冷水プール(ナタトリウム)、マッサージ室、香油を塗る部屋などが設備されておりました。

このように温度差のある浴室は「循環入浴」と呼ばれる入浴法を定着させていたようです。

浴場があくのは午後1時。鐘の音で湯の沸いたことを知ると、人々は浴場に来てまず運動をして汗を流し、アポデュテリウムで服を脱ぐ。ここで入浴用の簡単な布をあてがわれる。それからテビダリウムに入って体を温度に慣らし、カリダリウムに移る。ここで熱い湯に浸かって、ラコニウムに入る。ここでたっぷり汗をかいて、体にオイルを塗り、マッサージを受け、「肌かき器」で垢

を落としてもらう。これを済ませるとフリギダリウムで水風呂を浴びるか、ナタトリウムで軽く泳ぐ。こうして毛穴を引き締め、気分をリフレッシュさせていたとあります。現代のドイツのクア・オルトでの入浴法を思い出させます。一通り入浴が済んで心身共に爽快になった後は、友人達と談笑したり、図書館やその他の施設に行ったりします。ここは談笑の場であり、商談の場でもあり、さまざまな催しが行われる娯楽場でもあったようです。

古今東西を通じて、世界中で一番入浴を楽しんだ民族は古代ローマ人であったといわれます。人間は生きるための飲み水ならば100m下の川まで水を汲みに行きますが、風呂を沸かすためにはそのような努力はしません。今は栓をひねれば水も湯も出ます。スイッチを入れれば電気やガスが何でもやってくるので鈍感になっていますが、改めて考えてみれば、風呂に入るといのは大変なことなのだと思えます。水道水や燃料が豊富にあること、建築や設備の技術、またインフラを整備し、メンテナンスをする技術、それらをまかなう富や労働力がなければ風呂を楽しむということはできません。2000年も前に入浴を楽しんでいた古代ローマの凄さを改めて感じます。



講演 **温浴施設の衛生管理について**

厚生労働省健康局生活衛生課課長補佐 **清原 宏真 氏**



某週刊誌が岩盤浴の衛生、風俗、使用方法について3回連続で記事を掲載して話題になりました。それに関して、自治体や風評被害に悩む事業者さんなど、さまざまな方面から問い合わせをいただき、改めて岩盤浴の衛生管理を考える機会となりました。

岩盤浴施設を備えた店舗さんは、この件で非常にご苦労なされたことと存じます。私が聞きました事業主さんは、施設管理を強化すると共に風評被害を回復して安全・安心な施設であることをお客様に伝えるために、清掃消毒状態を店内に掲示するとか、ホームページで説明するなどの自助努力を重ねておられました。

こういう時期ですから、新しい消毒剤を検討することもあると思いますが、①消毒剤の成分、②裏付けある効果、③問題が起きた時の連絡先、などが明白なものをお選びください。消毒剤で事故が発生し

た場合も、施設管理者の責任が問われてしまいますので、信頼できる業者さんのものをお選びいただくことをお願いいたします。また、消毒時に使う薬剤や消毒法はそれぞれ素材に適したものを設備業者さんに確認してください。

今回、岩盤浴に耳目が集まりましたが、正直に申し上げますと、岩盤浴施設の種別はあまりに多岐に渡っているため、これを機に管理のよくない施設が淘汰されるのは健全な業界の発展のためには悪いことではないと考えております。

また、この時期に、岩盤浴など新しいサービスに対する衛生管理について、事業主の方々の工夫などを集めて自主基準を作ることをお勧めします。衛生管理の確実性を高めるためには、施設、浴室素材、原水等すべてを画一的に管理すればよいのですが、そうすると無味無臭の温浴施設となり、利用者のニーズに合わなくなります。自主的にきちんと管理することが、個性や遊び心ある岩盤浴等温浴事業が生まれ、より魅力あるリラクゼーション施設に発展

する可能性が大きいと考えています。

日本サウナ・SPA協会の皆様が日頃から自主管理基準を遵守なさっておられることは存じておりますが、さらに安心安全を重視した業界発展を推し進めていただき、国民の健康に寄与していただければと願う次第であります。

日本サウナ・SPA協会自主基準

- ・ロッカールーム内で人が直接接触するところ
→ 毎日清掃、1か月に1回以上消毒すること
- ・浴室内、サウナ室内の人が直接触れるところ
→ 毎日清掃、1か月に1回以上消毒すること

いわゆる岩盤浴に対する協会自主基準

- 洗い場、シャワー室または浴槽を設けること
- 岩盤等浴室内は毎日清掃し、常に衛生的に維持管理すると共に1か月に1回以上消毒すること
- 公衆衛生上の理由から、利用者が使用する浴衣類は営業者が清潔な物を提供し、使用させること
- その他は自主管理基準に準じる



講演 **湯巡り万華郷の説明と開発コンセプトについて**

(株)湯巡り万華郷 代表取締役会長 **松野 八郎 氏**



「湯巡り万華郷」は、日本初の開発型証券化スキームによる資金調達をした温浴施設です。総事業費50億円のうちトレントの証券会社を介してシニアローン35億円、残りの15億円は私の企画を信じてくださる8名の匿名組合出資者による出資で調達し、開店いたしました。

なぜ浦安かと申しますと、ディズニーランドの年間2000万人の来場者の癒やしのテーマパークにしようと考えたことと、土地を安く借りることができたのでファミリーや若い人向けのお湯に魅力ある施設を作ろうと考えたからです。

開店してみると、予想以上に宿泊客が多く、温泉旅館タイプの個室20室の稼働率は80%で、土曜日などまったく足りない状態です。1人の平均滞在時間が5時間、消費金額



(右) 飲食街の一角に設けられた子供用和室「手習い処」

は5200円。この点は予定通りに推移しています。食事とエステ9種類が好評ですが、特に飲食には力を注ぎ、有名ホテル出身の支配人が担当しています。1店1店個性のはっきりした店舗が飲食店街を構成し、街場の飲食店レベルの味を保っていることから、95%のお客様に「満足した」とお答えいただき、平均利用金額は1500円を維持しています。

もう1つの自信は「湯巡り」との名前通り、42種類のお湯にあります。最も注目されているのは「女性向けコラーゲン風呂」で、コラーゲン風呂の入浴剤のお土産も非常によく売れています。キーワードは「アンチエイジング」にあるとみて、現在、楊貴妃風呂を考案中です。

まだ目標の年間入館者数100万人は達成できていません。その原因は、値引きをしたくなかったため旅行代理店とのタイアップを断ってきた

ことと、パブリシティ戦略が不要だと思っていたことです。今後は旅行代理店への営業や面白いホームページで若い人にアピールするなど、反省点を改善しながら充実を図っていこうと考えております。

私の経営する(株)松野八郎総合建築設計事務所では、11月17日に静岡で某上場企業とタイアップして、江戸時代の町並み内に温泉があるという設定の「駿府夢広場」をオープン、2年後には越谷でさらに1.2倍規模の施設を計画しているところと



(上) 中華「老上海」自慢の点心
(下) 和食「千寿樓」の雅コース

エネルギー・フロンティア TOKYO GAS

いまどきのサウナは「マイルドしっとり」系

カッとするような熱さと肌に刺激的な高温サウナに替わり、いま身体にやさしい中温湿式の「ロッキーピラミッド」が評判です。室温は65℃～80℃の中温にキープ。水打ちされたサウナストーンからはたっぷりの蒸気が立ち上がります。これからのサウナは、高温に耐えながら汗をかくマニアックなものではなく、女性やお年寄りも楽しめる「マイルドしっとり」系の「ロッキーピラミッド」サウナです。



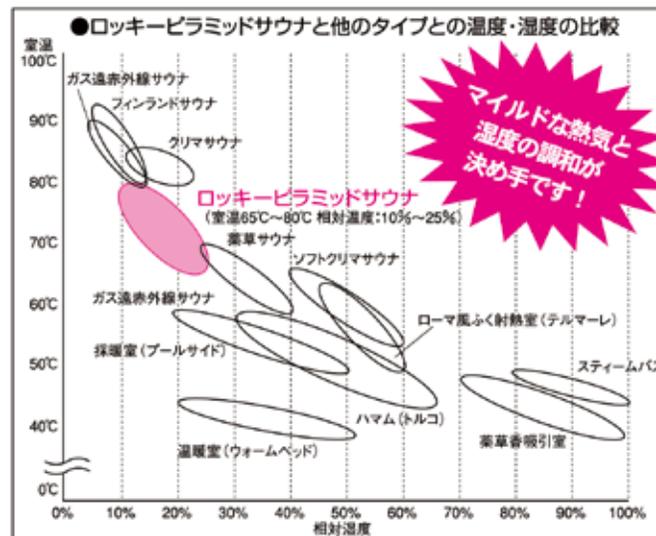
高温乾式 V.S. 中温湿式



ガスマイルドサウナ ロッキーピラミッド

東京ガス株式会社 都市エネルギー事業部 TEL.03-5322-7559

天然ガスがひらく未来



マイルドな熱気と湿度の調和が決め手です!